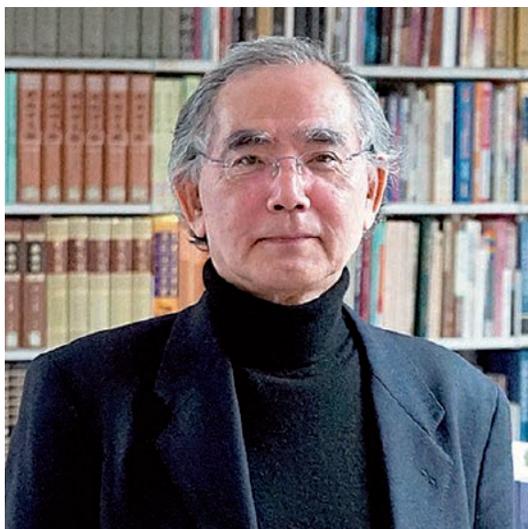


内田 慶市 教授 略歴および主要研究業績



〈略 歴〉

- 1951年 福井県に生まれる
- 1978年 大阪市立大学大学院文学研究科中国文学専攻博士課程所定単位修得後退学
- 1978年 福井大学教育学部専任講師
- 1980年 福井大学教育学部助教授
- 1987年 日本学術振興会特定国研究者派遣により、上海復旦大学中国語言文学研究所にて研究活動に従事。受け入れ研究者は許宝華先生（1987年4月1日～1988年1月31日）
- 1990年 関西大学文学部助教授
- 1992年 関西大学文学部教授
- 1998年 関西大学在外研究員としてハーバード大学にて研究活動に従事（1998年4月1日～1999年3月1日）
- 2009年 北京外国語大学客員教授
- 2010年 関西大学外国語学部教授
- 2016年 北京外国語大学高端外国専門家（Foreign Experts）（現在に至る）
- 2019年 山東大学漢学センター特聘教授（現在に至る）
- 2021年 関西大学外国語学部特別契約教授定年退職

【非常勤講師歴】

龍谷大学非常勤講師 (1977年4月1日～1978年3月31日)
大阪市立大学文学部非常勤講師 (1982年4月1日～1991年3月31日)
金沢大学文学部非常勤講師 (1985年4月1日～1987年3月31日)
仁愛女子短期大学非常勤講師 (1986年4月1日～1990年3月31日)
敦賀女子短期大学非常勤講師 (1986年4月1日～1998年3月31日)
小松短期大学非常勤講師 (1988年4月1日～1989年9月30日)
京都外国語大学非常勤講師 (1992年4月1日～1998年3月31日)
東京外国語大学アジアアフリカ研究所非常勤講師 (上海語講座担当) (1995年4月1日～)
神戸松蔭女子学院大学非常勤講師 (1996年4月1日～1998年3月31日)
神戸市立外国語大学非常勤講師 (2001年4月1日～2015年3月31日)
大阪市立大学大学院非常勤講師 (2004年4月1日～2015年3月31日、途中中断あり)

【学内役職・所属学会・社会的活動等】

吹田市教育委員 (2001～2009年)
世界漢語教育史研究学会副会長 (2004年～現在に至る)
吹田市教育委員会委員長 (2004年～2005年)
大学入試センター第一委員会中国語部会長 (2005年～2007年)
大学入試センター検討委員会座長 (2007年～2008年)
『国際漢語教育』編集委員 (2009年～現在に至る)
吹田市千里リサイクルプラザ研究所主担研究員 (2009年～現在に至る)
『国際漢学』編集委員 (2010年～現在に至る)
関西大学図書館長 (2012年10月～2016年9月)
中国近世語学会会長 (2015年～現在に至る)
東アジア文化交渉学会常任副会長 (2009年～現在に至る)
東アジア文化交渉学会会長 (2016年～2017年)
中国語教育学会理事 (2016年3月～2020年2月)
関西大学東西学術研究所所長 (2016年10月～2018年3月)
関西大学アジア・オープン・リサーチセンター長 (2017年4月～現在に至る)
日本中国語検定協会理事長 (2020年6月～現在に至る)

〈研究業績一覧〉

【著書 (単著)・編著】

01 『ハーバード電脳日記—ミセス・バーバラとの出会い』、内田慶市著、同学社、2000年5月、

総 317 頁。

- 02 『近代における東西言語文化接触の研究』、内田慶市著、関西大学出版部、2001年10月、総440頁。
- 03 『文化交渉学と言語接触—中国言語学における周縁からのアプローチ』、内田慶市著、関西大学出版部、2010年9月、総357頁。
- 04 『漢訳イソップ集』、内田慶市編著、ユニウス、2014年2月、総616頁。
- 05 『関西大学長澤文庫蔵琉球官話課本集』、内田慶市編著、関西大学出版部、2015年3月、総360頁。
- 06 『北京官話全編の研究 付影印・語彙索引 上巻』、内田慶市著、関西大学出版部、2017年2月、総745頁。
- 07 *A Study of Cultural Interaction and Linguistic Contact Approaching Chinese Linguistics from the Periphery*、Keiichi Uchida、V&R Unipress、2017年4月、総281頁。
- 08 『北京官話全編の研究 付影印・語彙索引 中巻』、内田慶市編、関西大学出版部、2017年5月、総756頁。
- 09 『北京官話全編の研究 付影印・語彙索引 下巻』、内田慶市編著、関西大学出版部、2018年3月、総954頁。
- 10 『『拝客訓示』の研究—解題と影印』、内田慶市編著、関西大学出版部、2019年3月、総244頁。
- 11 『南京官話資料集—《拉丁語南京語詞典》他二種』、内田慶市編著、関西大学出版部、2020年3月、総488頁。
- 12 『『造洋飯書』の研究—解題と影印』、内田慶市編著、関西大学出版部、2021年3月、総396頁。
- 13 『文化の翻訳としての聖像画の変容：ヨーロッパ—中国—長崎』、内田慶市編著、遊文舎、関西大学東西学術研究所発行、2021年3月、総324頁。

【共著・共編著】

- 01 『現代言語学批判』、三浦つとむ編、内田慶市・宮下真二・上田博和・鈴木覚・黒川新二共著、勁草書房、1981年9月、51-90頁。
- 02 『Mac で中国語』、内田慶市・野原康宏共著、ひつじ書房、1996年7月、総206頁。
- 03 『中国語表現のポイント99』、内田慶市・佐藤晴彦・張黎共著、好文出版、1997年10月、総158頁。
- 04 『近代啓蒙の足跡—東西文化交流と言語接触：『智環啓蒙塾課初歩』の研究』、内田慶市・沈国威共編著、関西大学出版部、2002年3月、総334頁。
- 05 『遐邇貫珍の研究』、内田慶市・松浦章・沈国威共編著、関西大学出版部、2004年1月、総

- 710 頁。
- 06 『遐邇貫珍—附解題・索引』、内田慶市・松浦章・沈国威共編著、上海辞書出版社、2005年12月、総721頁。
 - 07 『19世紀中国語の諸相—周縁資料（欧米・日本・琉球・朝鮮）からのアプローチ』、内田慶市・沈国威共編著、雄松堂出版、2007年3月、総303頁。
 - 08 『近代東アジアにおける文体の変遷—形式と内実の相克を超えて』、内田慶市、沈国威共編著、白帝社、2010年3月、総276頁。
 - 09 『言語接触とピジン—19世紀の東アジア』、内田慶市・沈国威共編著、白帝社、2009年3月、総387頁。
 - 10 『東アジアの言語・文化・芸術』、内田慶市・中谷伸生共編著、丸善出版、2011年11月、総396頁。
 - 11 『中日远程講座擷英録』、内田慶市・沈国威共編著、关西大学文化交渉学教育研究中心、2012年2月、総390頁。
 - 12 『東西文化の翻訳—「聖像画」における中国同化のみちすじ』、内田慶市・柏木治共編訳、関西大学出版部、2012年3月、総426頁。
 - 13 『廊其照字典集成・影印與解題・初版・第二版（文化交渉と言語接触研究・資料叢刊2）』、内田慶市・沈国威共編著、東亞文化交渉學會、2013年4月、総385頁。
 - 14 『語言自邇集の研究』、内田慶市・氷野歩・宋桔共編著、好文出版、2015年2月、総1007頁。
 - 15 『東アジア言語接触の研究』、内田慶市・沈国威共編著、関西大学出版部、2016年2月、総440頁。
 - 16 『官話指南の書誌的研究』、内田慶市・氷野善寛共編著、好文出版、2016年3月、総725頁。
 - 17 『珍藏本字典集成 影印与解題』、内田慶市・沈国威共編著、商務印書館、2016年11月、総387頁。
 - 18 『中国語と私』、内田慶市・相原茂共著、好文出版、2017年1月、総113頁。
 - 19 『周縁アプローチによる東西言語接触の研究とアーカイブスの構築（東西学術研究所研究叢書創刊号）』、内田慶市編著、ユニウス、関西大学東西学術研究所発行、2017年1月、総188頁。
 - 20 『関西大学東西学術研究所鱗澤文庫目録』、内田慶市他共編著、遊文舎、2017年3月、総678頁。
 - 21 『古新聖經殘稿二種北堂本與滿漢合璧本』、内田慶市・李爽學共編著、関西大学出版部、2018年12月、総360頁。
 - 22 『言語接触研究の最前線（東西学術研究所研究叢書第8号）』、内田慶市編著、ユニウス、関西大学東西学術研究所発行、2020年2月、総133頁。

- 23 『『華英通語』四種一解題と影印』、内田慶市・田野村忠温共編著、関西大学出版部、2020年3月、総661頁。

【学術論文】

- 01 「紅樓夢札記」、『明清文学言語研究会会報』第5号、1974年8月、1-12頁。
- 02 「代詞考」、『中国語研究』第4号、1975年11月、23-51頁。
- 03 「現代中国語における主体的表現のことば（一）」、『中国語研究』第16号、1977年3月、25-39頁。
- 04 「結果補語と否定の射程」、『中国語研究』第20号、1981年12月、21-31頁。
- 05 「《華語 pin 字妙法》の音系 - 「南京官音」の一資料」、『中文集刊』第3号、1991年10月、73-93頁。
- 06 「『滬語指南』的‘拉’‘哉’‘之’以及‘佬」、『関西大学中国文学会紀要』第13号、1992年2月、17-37頁。
- 07 「「官話」研究における「漢訳聖書」の位置づけ」、『関西大学文学論集』第41巻第3号、1992年2月、59-71頁。
- 08 「中国語とパソコン—その古くて新しい関係」、『関西大学視聴覚教育』第16号、1993年3月、1-24頁。
- 09 「漢語無定名詞主語句」、『日本近・現代漢語研究論文選』、北京語言学院出版社、1993年11月、351-362頁。
- 10 「『滬語指南』的若干語助詞」、『吳語研究』、香港中文大學新亞書院、1995年3月、113-126頁。
- 11 「商務印書館「英漢字典」の系譜」、『関西大学文学論集』第44巻1-4号、1995年3月、371-384頁。
- 12 「荀子の言語論」、『敦賀論叢』第10号、1995年12月、11-22頁。
- 13 「「イソップの東漸」補遺 - 「上海施医院」その他」、『関西大学中国文学会紀要』第17号、1996年3月、1-12頁。
- 14 「中国語のコーパス」、『言語』Vol.25 No.10、1996年10月。
- 15 「ヨーロッパ発—日本経由—中国行き」、『浙江と日本』（関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ1）、関西大学出版部、1997年4月、177-195頁。
- 16 「『郵便局は何時まであいてますか?』一言語の背景にあるもの」、通信教育教材「中国語中級コース」文化情報講座、ベネッセコーポレーション、1997年12月。
- 17 「鄺其照の“華英字典集成”について」、『関西大学中国文学科紀要』第19号、1998年、1-17頁。
- 18 「關於西学東漸与近代日中欧語言接触研究的方法」、『中文学志』否号、1998年2月、21-31

頁。

- 19 「『黒茶』から『紅茶』へ」、『関西大学東西学術研究所紀要』第31輯、1998年3月。(のち沈国威編『『六合叢談』の学際的研究』白帝社、1999年11月に所収)
- 20 「中国語教育の歴史と現状」、『研究センター報』、1999年。
- 21 「西学東漸与近代日中欧語言文化交流 - 以伊索寓言的訳介為例」、『詞庫建設』總第20期、1-9頁。
- 22 「中国語における不定名詞主語文」、『福井大学教育学部紀要』第37号、1999年11月、25-38頁。
- 23 「イソップ東漸 - ロバート・トームと『意拾喩言』」、『関西大学文学論集』第49巻第1号、1999年11月、1-37頁。
- 24 「中国語の学び方」、『中国語の環』第51号、2000年4月。
- 25 「今年は何年ですか—中国語教育 実践と研究」、『TECC mate《交流》JIAOLIU』第5号、2000年9月。
- 26 「“Nin”に関わることがら」、『関西大学文学論集』第50巻第2号、2000年12月、121-148頁。
- 27 「欧米人の学んだ中国語—ロバート・トームの『意拾喩言』を中心に」、『西洋近代文明と中華世界』(狭間直樹編)、京都大学学術出版会、2001年2月、143-159頁。
- 28 「再論「文化の翻訳」について」、『或問』第2号、2001年3月、123-130頁。
- 29 「日本に伝わった漢訳イソップ物語」、『中国華東・華南地区と日本の文化交流(関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ3)』、関西大学出版部、2001年3月、181-205頁。
- 30 「再論「文化の翻訳」をめぐって—「聖像画」から見た中国文化への同化の現象」、『関西大学東西学術研究所創立五十周年記念論文集』、関西大学出版部、2001年10月、45-62頁。
- 31 「自転車」、『或問』第3号、2001年11月、121-124頁。
- 32 「近代欧米人の中国語語法研究」、『文化事象としての中国』、関西大学出版部、2002年3月、119-141頁。
- 33 「近代日中欧言語文化接触に関わる一つの現象」、『福建と日本』(関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ4)、関西大学出版部、2002年4月、139-163頁。
- 34 「中国コマ漫画の濫觴」、『或問』第4号、2002年6月、105-109頁。
- 35 「『小孩月報』に見られるイソップ」、『或問』第5号、2003年1月、123-127頁。
- 36 「中国化されたキリストの一生」、『或問』第6号、2003年6月、137-140頁。
- 37 「紅毛通用番話」、『或問』第7号、2004年3月、113-114頁。
- 38 「近代西人的漢語語法研究」、『語言接触論集』、上海教育出版社、2004年3月、258-272頁。
- 39 「近代欧米人の中国語語法研究と品詞名称の変遷初探」、『関西大学中国文学会紀要』第24号、2004年3月、43-52頁。

- 40 「最近目にした「西学東漸」と言語文化接触に関する書物」、『或問』第7号、2004年3月、95-103頁。
- 41 「《馬氏文通》以前中国人的語法研究—關於畢華珍《衍緒草堂筆記》的詞類方法」、『関西大学中国文学会紀要』第26号、2005年3月、23-34頁。
- 42 「19世紀の英語資料と中国語研究」、『或問』第9号、2005年5月。
- 43 「『馬氏文通』以前中国人的語法研究—畢華珍著『衍緒草堂筆記』的詞的分類方法」、『世界漢語教育史研究』、澳門理工學院、2005年7月、247-251頁。
- 44 「中国人の描いた「ロードス島の巨人像」」、『或問』第10号、2005年12月。
- 45 「再論 Pidgin English—周振鶴氏への回答」、『或問』第10号、2005年12月。
- 46 「日本における中国語教育の過去・現在・未来—「複言語主義」の前に」、『Rencontres』20、2006年1月。
- 47 「語言自彙集に関わることから」、『アジア文化交流研究』、第1号、2006年3月。
- 48 「中国における「写真」—併せて「化学」という言葉について」、『或問』第11号、2006年6月。
- 49 「防弾チョッキもあるでよ—“制衣御弾”」、『或問』第13号、2007年2月、168-169頁。
- 50 「中国語研究を行うためのデジタルソースの利用」(内田慶市・氷野善寛共著)、『アジア文化交流研究』第2号、2007年3月、159-172頁。
- 51 「近代中国語における「曜日」の言い方」、『アジア文化交流研究』第2号、2007年3月、125-136頁。
- 52 「Nova Bibliotheca Sinica の構築に向けて」(内田慶市・小野文共著)、『アジア文化交流研究』第2号、2007年3月、93-104頁。
- 53 「「近代漢語文献データベース」の構築」、内田慶市・氷野善寛(共著)、『東方』第320号、2007年7月。
- 54 「「現代中国語コーパス」について」(内田慶市・氷野善寛共著)、『東方』第320号、2007年10月、14-18頁。
- 55 「《文化書官話》(1869) 的语法论—19世紀汉语语法研究的金字塔」、*Linguistic Exchanges between Europe, China and Japan* (Ed. by Federica Casalin)、TIELLEMEDIA Editore、2008年、171-191頁。
- 56 「中国言語学における周縁からのアプローチ—文化交渉学の一領域として—」、『東アジア文化交渉研究』創刊号、2008年3月、29-43頁。
- 57 「《文學書官話》(1869) の文法論—19世紀中国語文法研究の金字塔」、『アジア文化交流研究』第3号、2008年3月、93-112頁。
- 58 「原則論抜きの議論は不毛—改正教育法の中身と教育委員会制度のあり方」、『季刊教育法』No.159、エイデル研究所、2008年12月、11-16頁。

- 59 「關於香港「文裕堂」及其周邊」、『アジア文化交流研究』第4号、2009年3月、289-296頁。
- 60 「关于《语言自述集》的若干问题」、『亚洲语言文化交流研究』、上海辞书出版社、2009年3月、26-36頁。
- 61 「Pidgin—異語言文化接觸中的一種現象」、『東アジア文化交渉研究』第2号、2009年3月、197-208頁。
- 62 「關於馬禮遜的語法論及其翻譯觀」、『東アジア文化交渉研究』第2号、2009年3月、209-216頁。
- 63 「『語言自述集』在日本」、『アジア文化交流研究』第4号、2009年3月、237-250頁。
- 64 「ピジン—異言語文化接觸における一つの現象」、『言語接触とピジン—19世紀の東アジア』、白帝社、2009年3月、1-13頁。
- 65 「中国语言学中的「周边」研究法——以文化交涉学领域之一的角度」、『从周边看中国』（復旦大学文史研究院編）、中華書局、2009年6月、457-471頁。
- 66 「近代西洋人汉语研究的定位和可能性」、『国际汉语教育』2009年第2輯、外语教学与研究出版社、2009年6月、58-68頁。
- 67 「近代中国語における「時」の表現に関するノート」、『或問』第16号、2009年7月、149-159頁。
- 68 「新しく発見された漢訳聖書——ジャン・バセ訳新約聖書稿本」、『東方』第341号、2009年7月、8-13頁。
- 69 「关于“文裕堂”及其周边」、《北大史学》14、北京大学出版社、2009年12月、33-43頁。
- 70 「X線の中国伝来」、『或問』第17号、2009年12月、139-141頁。
- 71 「近代西人漢語（語法）研究史的近況和課題」、『跨越東西方的思考』（李雪濤等編）、外语教学与研究出版社、2010年1月、371-377頁。
- 72 「モリソンが元にした漢訳聖書—新しく発見されたジャン・バセ訳新約聖書稿本」、『アジア文化交流研究』第5号、2010年2月、219-230頁。
- 73 「近代西洋人的汉语—他們的汉语語体觀」、『東アジア文化交渉研究』第3号、2010年3月、199-212頁。
- 74 「《语言自述集》源流及其在日本的传播」、《跨越空間的文化—16-19世紀中西文化的相遇与調适》、復旦大学历史地理研究中心、東方出版中心、2010年5月、46-62頁。
- 75 「文化交涉学と言語接触—翻訳とは何か—（文藝学会公開講演会・筆録）」、『文藝論叢』第75号、2010年10月。
- 76 「馬禮遜參照的漢譯聖書—新發現的白日昇譯新約聖經稿本」、《自上帝說漢語以來—《和合本》聖經九十年》（謝品然・曾慶約合編）、CABSA 研道社、2010年12月、53-68頁。
- 77 「表紙絵解題：鄭其照の玄孫からのメール」、『或問』第19号、2010年12月、131-146頁。

- 78 「关于马礼逊的语法论及其翻译观」、《架起东西方交流的桥梁》、外语教学与研究出版社、2011年1月、18-27頁。
- 79 「秘蔵は死蔵なり—図書館と文献公開のあり方」、『東方』第360号、2011年2月、7-11頁。
- 80 「近代西洋人漢語研究的價值」、《清代民國漢語研究》、學古房、2011年2月、39-52頁。
- 81 「19世紀傳教士江沙維的對漢語的看法—葡萄牙遣使會的语言政策之一—」、『東アジア文化交渉研究』第4号、2011年3月、229-241頁。
- 82 “The Peripheral Approach in Chinese Linguistics as an Area of Cultural Interaction Studies”, *A Selection of Essays on Oriental Studies if ICIS* (ICIS Oversea Publication Series Vol.1)、2011年3月、123-137頁。
- 83 「关于语言接触和“新兴语法”」、『東アジア文化交渉研究』別冊第7号、関西大学東アジア文化研究科、2011年3月、35-42頁。
- 84 「イソップ東漸—翻訳とは何か」、『東アジアの言語・文化・芸術』、関西大学文学部、2011年9月、127-162頁。
- 85 「再論馬禮遜《神天聖書》的成書過程」、《印刷出版與知識環流—十六世紀以後的東亞》(出版博物館等編)、上海人民出版社、2011年10月、3-12頁。
- 86 「域外漢語研究的新段階」、『関西大学東西學術研究所創立60周年記念論文集』、関西大学出版部、2011年10月、19-33頁。
- 87 「与“您”有关的问题」、『國際漢學』第22輯、大象出版社、2012年1月、191-218頁。
- 88 「白日升漢譯聖經攷」、『東アジア文化交渉研究』第5号、2012年2月、191-198頁。
- 89 「開創域外漢語研究的新局面」、『東アジア文化交流研究』別冊第8号、2012年2月、141-156頁。
- 90 「严复《英文汉诂》札记」、『東アジア文化交渉研究』東アジア文化研究科開設記念号、2012年3月、25-34頁。
- 91 「白日升汉译圣经考」、《西学东渐与东亚近代知识的形成和交流》、上海人民特版社、2012年6月、91-100頁。
- 92 「近代西洋人汉语研究—汉语语言学的“周边”研究法」、大象出版社、2012年11月、291-312頁。
- 93 「近代域外漢語研究文献資料アーカイブスの過去・現在・未来」、『関西大学アジア文化研究センターディスカッションペーパー』VOL.4、2012年12月、3-7頁。
- 94 「為了近代西洋人漢語研究文献數據庫的構築—以各種文献書目(目錄)的整理為主」、『関西大学アジア文化研究センターディスカッションペーパー』VOL.5、2013年3月、21-25頁。
- 95 「近代中國人編的英漢字典的譜系」、『東アジア文化交渉研究』第6号、2013年3月、2-16頁。
- 96 「衛三畏在漢語語言學上的貢獻」、『東アジア文化交渉研究』第6号、2013年3月、17-26頁。

頁。

- 97 「重点領域研究成果報告書：近代文化交渉学研究のための国際的総合文献資料アーカイブの構築」、2013年3月。
- 98 「関西大学内藤文庫デジタル・アーカイブスの現状」、『湖南』第33号、内藤湖南先生顕彰会、2013年3月、76-81頁。
- 99 「卫三畏在汉语语言学上的贡献」、『世界汉语教育史研究学会通讯』总第4期、2013年9月、10-17頁。
- 100 「琉球官話の新資料—関西大学長澤文庫蔵『中国語会話文例集』」、『中国語研究』第55号、白帝社、2013年10月、1-22頁。
- 101 「中国语言学中的“周边”研究法」、《近代西方汉语研究论集》、商务印书馆、2013年12月、33-54頁。
- 102 「近代西方人的汉语文体观」、《国际汉语教育史研究》、商务印书馆、2014年1月、9-27頁。
- 103 「新しく目にした東西言語接触研究に関する資料—2013年欧州訪書記」、『東アジア文化交渉研究』第7号、2014年3月、23-55頁。
- 104 「『無師初學英文字』—清末南北官音差異一斑」、『東アジア文化交渉研究』第8号、関西大学大学院東アジア文化研究科、2015年3月、25-33頁。
- 105 「漢譯聖經研究的新的局面—以『古新聖經』為主」、『關西大學中國文學會紀要』第37号、2016年3月、1-13頁。
- 106 「関西大学アジア文化研究センター『鱗澤文庫』の珍藏本」、『東アジア文化交渉研究』第9号、関西大学大学院東アジア文化研究科、2016年3月、3-15頁。
- 107 「關西大學亞洲文化研究中心的數據庫的現狀和未來」、関西大学アジア文化研究センター・ディスカッションペーパー、2016年3月、23-26頁。
- 108 「卡薩納特圖書館藏雍正朝教案檔案」、『東西學術研究所紀要』第49輯、関西大学東西學術研究所、2016年4月、7-20頁。
- 109 「文化交渉學與語言研究」、『合璧西中—慶祝顧彬教授七十壽辰文集』、外語教學與研究出版社、2016年7月、618-638頁。
- 110 「域外漢語研究の過去・現在・未来—文化交渉学の視点から」、『文化交渉学のパースペクティブ』（吾妻重二編）、関西大学出版部、2016年8月、3-26頁。
- 111 「関西大学アジア文化研究センター所蔵「鱗澤文庫」について」、『中国語研究』第58号、白帝社、2016年10月。
- 112 Research on CHINESE LANGUAGE STUDIES BY MISSIONARIES FROM THE END OF 16TH TO THE END OF THE 19TH CENTURY, FERDINAND VERBIEST INSTITUTE, KU LEUVEN, 2017年、225-243頁。
- 113 「有關《拜客問答》的若干問題及其他」、『東アジア文化交渉研究』第10号、関西大学大学

院東アジア文化研究科、2017年3月、87-100頁。

- 114 The Chinese Traditional Method of “Full or Vacant Characters” and the Grammar of Port-Royal, *Reading the Signs: Philology Hitori, Prognostication-Festschrift for Michael Lackner*. Iudicium, 2018年3月、221-236頁。
- 115 「KU-ORCAS—オープンプラットフォームが切り拓く新しい人文知の未来」、『中国21』Vol.51、東方書店、2019年12月。
- 116 「羅伯聃對漢語語言學的貢獻」、『西土與近代中國：羅伯聃研究論集—ロバート・トーム研究（研究と影印）』（沈国威編）、関西大学出版部、2020年3月、1-32頁。
- 117 「満漢文献資料の内外の所蔵状況について：中国語学研究の立場から『石濱文庫』満洲語文献を中心に」、『東アジア文化交渉研究』第13巻、関西大学大学院東アジア文化研究科、2020年3月、721-732頁。
- 118 「域外汉语資料对于“南京官话”研究的可能性」、『国际汉语教育史研究』第1輯、2020年7月、22-39頁。

【翻訳】

- 01 「中国語における語彙の発展と変化」（内田慶市・戴浩一原著）、〔中文和訳〕、『中国語研究』第16号、1977年3月、65-77頁。
- 02 「敦煌漢簡中の西域史料に関する幾つかの問題」（内田慶市・李永良原著）、〔中文和訳〕、『漢簡研究の現状と展望—漢簡研究国際シンポジウム'92報告書』、関西大学東西学術研究所、1993年12月、84-99頁。
- 03 「マレーシアの道教」、『道教的密教的辟邪呪物の調査研究』（内田慶市・坂出祥伸ほか編）、ビイング・ネット・プレス、2005年2月、138-151頁。

【国内学会・シンポジウム発表】

- 01 「近代欧米人の中国語法研究」、日本中国語学会創立50周年記念大会、名古屋大学、2000年10月。
- 02 「『語言自邇集』の成立に関わること」、中国近世語学会秋季研究集会、2003年11月。
- 03 「『衍緒草堂筆記』について」、中国近世語学会春季研究総会、2004年5月。
- 04 「『語言自邇集』に関わることから」、日本中国語学会第55回全国大会、2005年10月。
- 05 「日本における中国語教育の過去・現在・未来」、第20回関西フランス語教育研究会、2006年3月。
- 06 「『改良民国官話指南』の「積義」からみた南北官話の実際」、中国近世語学会春季研究総会、2013年6月。
- 07 「文化交渉学と言語接触研究—周縁からのアプローチ」、第48回ことば研究会（電子情報通

信学会)、2015年2月。

- 08 「東アジア文献アーカイブスの現状と未来」、国文学研究資料館：公開シンポジウム「日本語の歴史的典籍データベースが切り拓く研究の未来」、2015年7月。
- 09 「近代西洋人的語體観」、中国近世語学会秋季研究集会、2016年12月。
- 10 「KU-ORCASの目指すもの」、KU-ORCASキックオフシンポジウム「デジタルアーカイブが開く東アジア文化研究の新しい地平」、2018年2月。
- 11 「KU-ORCASの現状と今後の展望」、国立大学図書館協会シンポジウム、2018年10月。
- 12 「明治維新期の英語学習と何礼之について」、中国近世語学会秋季研究集会、2018年12月。
- 13 「適応主義の典型としての聖像画—ナダルからド・ロヘー—文化の翻訳の一つの方法」、日文研「書物を耕す—総合書物学の挑戦」シンポジウム、2019年2月。
- 14 「東アジア文献アーカイブの諸問題」、デジタルアーカイブ学会：KU-ORCAS企画セッション「デジタルアーカイブと東アジア研究」、2019年3月。
- 15 「満漢文献の国内外での所蔵状況について」、満族史第34回研究会、2019年5月。
- 16 「南京官話に関する新資料について」、中国近世語学会秋季研究集会、2019年12月。
- 17 「漢訳聖書の様々な可能性」、中国近世語学会秋季研究集会、2020年12月。

【国際学会・国際シンポジウム・基調講演等】

- 01 「漢語無定名詞主語句—別外一個“存現句”」、中国語言学会第4届年会(広州)、1987年12月。
- 02 「『滬語指南』の語気詞」、第1回国際呉語研究シンポジウム、1988年12月。
- 03 「“西学東漸”與近代日中歐語言接觸研究的方法」、「中国近代学術用語の形成と変遷」シンポジウム、1997年2月。
- 04 「“西学東漸”與語言研究」、「西学東漸と言語交流」シンポジウム、1997年8月。
- 05 「關於近代日中歐語言文化交流研究」、近現代漢語学術用語国際シンポジウム、1998年9月。
- 06 「欧米人の学んだ中国語—ロバート・トームの『意拾喩言』を中心に」、京都大学人文科学研究所創立70周年記念国際シンポジウム、1999年11月。
- 07 「歐美人所學的漢語」、「TRANSLATING WESTERN KNOWLEDGE INTO LATE IMPERIAL CHINA」国際シンポジウム、1999年12月。
- 08 「近代西人的漢語語法研究」、言語接觸國際圓卓會議、2000年8月。
- 09 「近代西人的漢語語法研究—Wade的『語言自邇集』的語法論」、The second conference of the European Association of Chinese Linguistics、2001年9月。
- 10 「19世紀中国における英語学習」、Wissenschaftliches Symposium. Geburtstages von Herrn Prof. em. Dr. Wolfgang Lippert、2002年5月。

- 11 「近代欧米人の中国語語法研究と品詞名の変遷初探」、東西文化交流国際シンポジウム、2002年8月。
- 12 「近代西洋人の中国語学研究の可能性」、2003年9月。
- 13 「『馬氏文通』以前の中国語語法研究—關於畢華珍の『衍緒草堂筆記』について」、世界漢語教育史国際學術研討会、2004年7月。
- 14 「十九世紀的英語資料与漢語研究」、第5回漢字文化圏近代語研究会国際シンポジウム、上海同濟大学、2005年。
- 15 「近代西人漢語（語法）研究史的近況和課題」、海外漢学學術研討会、2005年7月。
- 16 「近代西洋人的漢語研究的定位和可能性—以“官話”研究為中心」、「19世紀中国語の諸相—周縁（欧米・日本・琉球・朝鮮）からのアプローチ」国際シンポジウム、2005年12月。
- 17 「近代中国における初期英語テキストについて」、「漢字訳語と漢字文化圏諸言語の近代語彙の形成」国際シンポジウム、2006年3月。
- 18 Henri Cordier's *Bibliotheca Sinica*: A preliminary study for the development of database catalogues (内田慶市・小野文)、「Exchanges of knowledge between China and West: institutions and networks」国際シンポジウム、2006年8月。
- 19 「近代漢語里的“週日”的說法」、「中国現代学科的形成本：以学科術語為中心的討論」国際シンポジウム、2006年10月。
- 20 「「西学東漸」研究と関西大学」、「関西大学創立120周年記念・関西大学がはぐくんだ大阪学与中国学」国際シンポジウム、2006年10月。
- 21 「『文學書官話』（1869）的語法論—19世紀漢語語法書の金字塔」、「16-19世紀西方人的漢語研究」國際シンポジウム、2007年10月。
- 22 「周边资料对汉语语言学的可能性—作为文化交涉学的一领域」、「从周边看中国」国际学术研讨会、2007年12月。
- 23 「關於馬禮遜的語法論及其翻譯觀」、馬禮遜與中西文化交流國際學術研討會、2008年3月。
- 24 「ピジン—異言語文化接触における一つの現象」、第11回アジア文化交流研究センター研究集会（國際シンポジウム）、2008年10月。
- 25 「關於“文裕堂”及其周邊」、第4回北京論壇、2008年11月。
- 26 「《语言自述集》的源流及其在日本的传播」、「跨越空间的文化」研讨会、2008年12月。
- 27 「新しく発見された新約聖書」、The International Symposium on the History and Present Condition of Cultural Exchange between China and Central & Eastern Europe、2009年5月。
- 28 「近代ヨーロッパ人の中国語研究と文化交渉学」、Workshop of Cultural and linguistic exchange between East and West、2009年9月。
- 29 「近代来華宣教師和漢学研究」、The 2009 International Symposium on “The Early European

- Missionaries Coming to China and Sinological Studies”、2009年9月。
- 30 「天主教与新教之間在出版文化上的溝通」、出版文化的新世界：香港与上海 (International Conference: Publishing Culture Globalized: Hong Kong and Shanghai)、2009年11月。
 - 31 「近代西洋人的漢語文体觀」、世界漢語教育史研究学会國際シンポジウム、2009年12月。
 - 32 「近代西洋人漢語研究的價值」、清代民国時期漢語國際學術研討會、2010年5月。
 - 33 「关于语言接触和“新兴语法”」、International Workshop Western Knowledge and the Modern Chinese Language、2010年7月。
 - 34 「关于公神甫的《汉字文法》」、世界漢語教育史研究学会第3次年會、2010年9月。
 - 35 「中国言語学における周縁からのアプローチ」、東亜文化交渉学方法論研究会、2010年9月。
 - 36 「再論馬禮遜《神天聖書》的成書過程」、ICIS 第4回國際シンポジウム「出版印刷と知識の環流—16世紀以後の東アジア」、2010年10月。
 - 37 「19世紀傳教士江沙維的对漢語的看法—葡萄牙遣使会的語言政策之一」、澳門語言規劃與語言政策研究國際シンポジウム、2010年11月。
 - 38 「16世紀末到19世紀末的傳教士的漢語研究」、Workshop on China missionary Linguistics、2011年3月。
 - 39 「关于西洋人的漢語研究里的漢語本身的可靠性—以卫匡国、江沙維、威妥瑪、戴遂良等为例」、第3回東アジア文化交渉学会、2011年5月。
 - 40 「文化交渉学と言語接触—「文化の翻訳」イソップ東漸を例として—」、中国社会科学院近代史研究所、2012年3月。
 - 41 「イソップ東漸—「文化の翻訳」をめぐる—」、2012國際學術大會「東アジアの古典翻訳学の諸問題」、2012年5月。
 - 42 「近代中國人編的英漢字典的譜系」、「中華書局與中國近現代文化」國際學術研討會、復旦大学 (中国・上海)、2012年7月。
 - 43 「域外漢語研究的新局面—作為正面研究近代漢語官話的資料」、「漢語與亞洲、歐洲語言的接觸與交流」國際學術大會、2012年8月。
 - 44 「文化の翻訳—文化交渉学の立場から」、嶺南大学・関西大学「東アジアの言語・文化・歴史およびアーカイブス」ワークショップ、嶺南大学 (韓国)、2012年11月。
 - 45 「衛三畏在漢語語言學上的貢獻」、19世紀的東亞與美國—紀念衛三畏誕生200周年國際學術討論會、2012年12月。
 - 46 「鄭其照《字典集成》和商務印書館」、第6回東アジア文化交渉学会、2013年5月。
 - 47 「新教傳教士的翻譯活動對漢語新文體的影響」、「19至20世紀初翻譯與東亞現代化」國際研討會、2013年5月。
 - 48 「傳教士得文化政策與《伊索寓言》在東亞得傳播」、「宮廷典籍と東アジア文化交流」國際シンポジウム、2013年7月。

- 49 「西洋與日本琉球新見中外語言接觸資料」、中外言語接觸系列ワークショップ1、2013年9月。
- 50 「明末清初琉球官話課本の新資料—兼談最近在歐洲看到的新文獻」、「漢語國際傳播歷史」國際學術研討會暨世界漢語教育史研究學會第5屆年會、2013年9月。
- 51 「関西大学における東アジア文獻資料アーカイブズ化の展望」、CSAC 第1回国際シンポジウム「東アジア典籍資料のアーカイブス構築と活用」、2013年10月。
- 52 「漢訳聖書研究の新しい局面」、東アジア文化交渉学会第6回年次大会、2014年5月。
- 53 「伊索東漸—漢譯伊索翻譯史」、東アジア文化交渉学会第6回年次大会、2014年5月。
- 54 「羅馬卡薩納特圖書館收藏雍正朝教案檔案」、「燕行使進紫禁城」國際シンポジウム、2014年6月。
- 55 「日本における圖書館の電子化の状況」、関西大学圖書館創立100周年記念國際シンポジウム、2014年11月。
- 56 「有關清末南北官音差異的資料簡介」、海外漢語方言暨世界漢語教育史國際研討會、2014年11月。
- 57 「關西大學亞洲文化研究中心的數據庫的現狀」、CSAC 國際研究集會「文化交渉學とデジタル時代の人文學」、2015年3月。
- 58 「關於近代中國人編《英華字典》的譜系—以商務印書館的一系列為主」、「英華字典與近代中國」學術研討會、2015年8月。
- 59 Computerization, Informatization, and Information Technology in Japanese Library and its future、LIS（圖書館の電子化國際會議）2015、2015年8月。
- 60 「CSAC における東アジア文獻のアーカイブスの現狀と將來」、関西大学 CSAC 第2回国際シンポジウム「東アジア文獻資料のアーカイブスの現狀と國際ネットワーク」、2015年10月。
- 61 「域外漢語研究的有効性」、第7回世界漢語教育史國際シンポジウム、2015年11月。
- 62 「東亞文獻資料的電子化的現狀和未來」、東亞文學觀念史與數位人文 Digital Humanities and East Asia Literature Research、2015年12月。
- 63 Louis Poirot's Manchu-Chinese Translated Bible、21th Biennial Conference of the European Association for Chinese Studies（歐洲漢學會議）、2016年8月。
- 64 「關西大學亞洲文化研究中心的數據庫的現狀和未來」、古籍整理與版本目錄學國際研討會、2016年11月。
- 65 「西洋傳教士的虛實論和波爾·羅瓦雅爾語法」、歐洲漢語教學會議、2017年2月。
- 66 「周邊看中心—漢語研究的一個方法」、第9回東アジア文化交渉学会、2017年5月。
- 67 The translation of culture. — Aesop in the East from the point of view of cultural interaction、ISCAL（International Symposium on Culture, Arts, and Literature）2017、2017年8月。

月。

- 68 「漢語研究的周辺方法論」、第9回世界漢語教育史研究学会、2017年10月。
- 69 「文化交渉学と言語接触研究」、『東アジア文明—継承と創造』国際シンポジウム、2017年11月。
- 70 「關於江沙維的漢語研究以『漢字文法』的北京話為主」、第5回澳門学国際シンポジウム、2017年11月。
- 71 「何禮之在明治維新时期西書翻譯中的貢獻」、第2回中国翻譯史国際シンポジウム、2017年12月。
- 72 「罗伯聃和他的对汉语语言学的贡献」、東西研& KU-ORCAS 合同国際シンポジウム、2018年4月。
- 73 「关西大学开放式亚洲研究中心的目标—以开放式平台创造崭新的人文知识的未来」、2018 International Conference on Integrated Development of Digital Publishing and Digital Libraries (CDPDL)、2018年8月。
- 74 「近代東西語言接觸史研究的過去，現在，未來」、近代東西語言文化接觸史研究ワークショップ、2018年9月。
- 75 「石濱文庫の満州語関係資料」、東西学術研究と文化交渉—石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム、2018年10月。
- 76 「KU-ORCAS —開放式研究平台開關的新的的人文知的未來」、世界漢語教育史研究学会第10回大会、2018年10月。
- 77 「近代东西语言文化接触史的展望」、近代东西语言接触研究学术会议—东西语言的接触与互动、2018年11月。
- 78 「域外汉语资料的可能性」、「中国与世界」学术研讨会、2018年11月。
- 79 「近代における西洋料理の伝播と受容—『造洋飯書』を中心に」、「近代における西洋料理の伝播と受容」KU-ORCAS 国際シンポジウム、2019年2月。
- 80 「有關拜客問答的若干問題及其他」、「中国与日本之間的西学」国際シンポジウム、2019年3月。
- 81 「近代西洋人的漢語研究」、「第2回東北亞海域と人文ネットワーク」国際学術大会、2019年4月。
- 82 「東アジア文献アーカイブの現状と課題」、第11回東アジア文化交渉学会、2019年5月。
- 83 「文化の翻訳としての聖像画の変容：ヨーロッパ—中国—長崎」、国際ワークショップ「東西文化の翻訳のかたち—聖像画の変容を中心に」、2019年6月。
- 84 「拜客問答及其他」、「何以“人”、何以“文”—明末至近代中国文化与兩度西潮」(研究発表) 国際シンポジウム、2019年9月。
- 85 「東西漢字観」、第3回国際漢字大会、2019年10月。

- 86 「關於南京官話研究的資料」、世界漢語教育史研究学会国際シンポジウム、2019年10月。
- 87 「關於南京官話的資料」、近代言語接触研究學術會議—400年來東西方語言之互動—、2019年11月。
- 88 「Cultural interaction studies and research on linguistic and cultural contact」、欧州漢語教師第7回国際シンポジウム、2020年7月。

【解説】

- 01 「辞書のはなし」、『NHK 中国語講座テキスト』、1979年4月。
- 02 「辞書の選び方・使い方」、『週刊読書人』No.1776、1989年3月。
- 03 「マルチリンガル…中国語環境の構築」ほか、『Macintoshの上手な使い方教えます』（MuON 選抜チーム著）、技術評論社、1996年3月、341-354頁。
- 04 「インターネット・マルチリンガル環境構築講座」（内田慶市・何徳倫共著）、『Internetuser』No.3,4、1996年3月。
- 05 「Macのアプリケーション」、『中国語』No.445、内山書店、1997年2月。
- 06 「インターネット」、『中国語』No.446、内山書店、1997年3月。
- 07 「中国語の文章を書くには - マッキントッシュ編」、『しにか』、1997年4月。
- 08 「パソコン中国語」、『中国語をモノにするためのカタログ'98』、株式会社アルク、1997年10月、93-100頁。
- 09 「Macで中国語を扱うには?」、『mackintoshトラブル&Tipsリファレンス』、技術評論社、1997年12月。
- 10 「海外でインターネット—アメリカ編」、『月刊しにか』別冊、1999年5月。
- 11 「HP200LXで「ポケットに中国語」」、『Mobile Press』、技術評論社、1999年12月。
- 12 「絶対分かる！ 電脳スーパー活用指南」、『中国語ジャーナル』、2000年。
- 13 「増田文庫展示目録解題」、『大坂の学問』、関西大学東西学術研究所、2001年10月。
- 14 「パソコンで中国語」ほか、『2003年度版 中国語をモノにするためのカタログ』、アルク、2003年10月、86-91頁。

【講演】

- 01 「点数学力の序列化・競争がもたらすもの—いま、教育に求められるもの—」、第58次日教組全国教育研究集会特別分科会「教育格差と学力保障」、2009年。
- 02 「橋下教育改革にもの申す」、吹田市教職員組合夏期セミナー、2009年7月。
- 03 「ことばと文化からみた環境あるいはエコ」、吹田市環境問題市民講座、2010年2月。
- 04 「文化交渉学と言語接触—翻訳とは何か」、大谷大学文藝学会公開講演会、2010年6月。
- 05 「文化交渉学と言語接触研究—從中國語言學的立場上」、香港城市大学中国文化研究所、

2010年11月。

- 06 「白線の内側でお待ち下さい—ことばを学ぶとは」、中京大学国際教養学部、2010年12月。
- 07 「文化交渉学と言語接触—周縁からのアプローチ」、連続講座第29回「東アジア書誌学への招待」、2012年7月。
- 08 「文化としての環境—普段着のエコ」、「子どもと環境—むかし・いま・これから」関連講演会、2012年8月。
- 09 「言語接触と文化交渉学—中国言語学および翻訳論の立場から—」、法政大学国際日本学研究所、2012年11月。
- 10 「東アジア文献アーカイブスをめぐって—図書館に求められるもの」、平成24年度アジア情報関係機関懇談会、2013年2月。
- 11 「関西大学内藤文庫デジタルアーカイブスの現状」、鹿角市先人顕彰館、2013年3月。
- 12 「新発見の琉球官話資料併せて最近見た西学資料」、北京外国語大学図書館、2013年9月。
- 13 「關於關西大學的東亞文獻資料庫的現況」、香港城市大学図書館、2014年4月。
- 14 「文化交渉学と言語接触研究—周縁からのアプローチ」、第74回大阪市立大学中国学会、2014年7月。
- 15 「外国語教育におけるICT利用は有効か?」、外国語教育ワークショップ「プチITを利用した外国語教育の実践」、2014年7月。
- 16 「デジタル化與古籍保護的現代方法」、復旦大学古籍整理研究所、2014年10月。
- 17 「大学における多様な外国語教育の取り組み」、新たな中国語教育を考える、國學院大學、2014年11月。
- 18 「ことばを学ぶとは—しなやかに中国語」、同志社大学、2015年1月。
- 19 「文化交渉学と言語研究」、日本近代語研究会平成27年春季研究発表大会、2015年5月。
- 20 「ことばを学ぶとは—しなやかに中国語」、埼玉伊奈総合学園、2016年5月。
- 21 「中国語の学び方」、福井県立足羽高等学校、2016年7月。
- 22 「中国語はどういう言語か—ことばを学ぶとは」、北陸大学、2016年7月。
- 23 「ことばを学ぶとは—中国語を中心に」、清水谷高校、2016年10月。
- 24 「文化交渉学和言語接触」、中山大学外語系、2016年11月。
- 25 「漢語研究的周辺方法論」、中山大学中文系、2016年11月。
- 26 「文化交渉学和語言研究」、北京外国語大学全球史研究院、2016年11月。
- 27 「文化交渉学和言語接触研究」、中国人民大学文学院、2016年11月。
- 28 「有關《拜客問答》的若干問題」、北京外国語大学國際中国文化研究院、2016年11月。
- 29 「漢語研究的周辺方法論」、清華大学、2017年3月。
- 30 「文化交渉学与汉语研究」、厦門嘉庚学院日語系、2018年3月。
- 31 「文化交渉學與漢語研究—周邊方法論 = 從周邊看中心」、香港教育大学、2018年5月。

- 32 「文化交渉学と中国語研究」、マカオ理工大学、2018年5月。
- 33 「KU-ORCAS—オープン・プラットフォームが切り拓く新しい人文知の未来」、愛知大学国際問題研究所、2018年11月。
- 34 「東西言語接触研究の過去、現在、未来」、中山大学中国語文学系“名师讲坛”、2018年11月。
- 35 「近代東西言語接触史研究的对于汉语语言学的贡献」、北京语言大学中文系、2018年12月。
- 36 「文化交渉学与言語文化接触研究」、香港中文大学（深圳）、2019年3月。
- 37 「文化交渉学与近代東西言語文化研究」、北京師範大学跨文化研究院跨文化研究系列講座、2019年8月。
- 38 「語言文化交渉学研究」、厦門大学中人文学院中文系、2019年11月。
- 39 「文化交渉学与漢語研究」、厦門大学海外教育学院、2019年11月。
- 40 「東西言語文化接触諸相」、北京体育大学、2019年11月。
- 41 「文化交渉学和言語接触研究」、山東大学外国語学部日語科、2019年12月。
- 42 「東アジア文献のデジタル化における諸問題—言語研究の立場から」、山東大学漢学研究センター、2019年12月。
- 43 「域外漢語研究对漢語研究的贡献—以西洋人的漢語研究為主」、国際漢語教育名家講壇第一期全球直播、2019年12月。
- 44 「域外漢語研究的可能性」、北京外国語大学全球史研究院、2019年12月。
- 45 「文化交渉学の諸相」、上海国際青年学者論壇、2020年5月。
- 46 「大学図書館における特別コレクションとは—関西大学図書館の特別コレクションを通じて—」、全国図書館大会和歌山大会、2020年11月。

【研究例会口頭発表】

- 01 「再論「文化の翻訳」をめぐって—『天主降世出像經解』の「繡像」について」、東西学術研究所研究例会、2000年6月。
- 02 「最近目にした「西学東漸」に関する資料について」、第9回東西言語文化接触研究会例会、2003年12月。
- 03 「筆者新発見之『華英通語』初探」、第11回近代東西言語文化接触研究会、2004年12月。
- 04 「欧米人の中国語学研究文献の整理と文献データベースの構築」、CSAC 言語文化班第9回研究例会、2006年7月。
- 05 「近代中国語の曜日の言い方」、CSAC 言語文化班第11回研究例会、2006年11月。
- 06 「私の文化交渉学=文化の翻訳—言語学の観点から」、ICIS 第2回創世部会、2007年10月。
- 07 「关于严复的《英文汉话》」、ICIS 第18回研究例会、2008年2月。
- 08 「『語言自邇集』在日本」、CSAC 第23回言語文化研究班研究例会、2008年11月。

- 09 「『改良民国官話指南』の釈義について」、関西大学東西学術研究所言語接触研究班第1回研究例会、2013年4月。
- 10 「琉球官話の新資料—長澤文庫藏《中國語例文集》」、関西大学東西学術研究所言語接触研究班第3回研究例会、2013年6月。
- 11 「鄭其照研究の最前線—中国人による英華辞書の系譜」、関西大学東西学術研究所言語接触研究班第7回研究例会、2013年10月。
- 12 「カサナテンセ図書館の幾つかの資料」、関西大学東西学術研究所言語接触研究班第10回研究例会、2015年1月。
- 13 「漢訳イソップの新資料をめぐって」、関西大学東西学術研究所言語交渉研究班第14回研究例会、2020年1月。

【教科書】

- 01 「漢語指南」、光生館、1991年2月、総92頁。
- 02 「アラカルト中国語」、同学社、1992年2月、総62頁。
- 03 「チャイニーズステーション」、内田慶市・沈国威、好文出版、1997年3月、総107頁。
- 04 「新校アラカルト中国語」、同学社、1998年2月、総85頁。
- 05 「新チャイニーズステーション」、内田慶市・沈国威、好文出版、1999年、総93頁。
- 06 「中検準2級問題集」、光生館、2001年2月、総140頁。
- 07 「中検2・1級問題集」、光生館、2001年2月、総150頁。
- 08 「中検準4級問題集」、内田慶市・沈国威、光生館、2001年2月、総98頁。
- 09 「中検4級問題集」、光生館、2001年2月、総110頁。
- 10 「中検3級問題集」、光生館、2001年2月、総120頁。
- 11 「現代上海語教本」、内田慶市・朱一星、白帝社、2001年4月、総108頁。
- 12 「TECCにチャレンジ 初級攻略本」、内田慶市・奥田寛ほか、東方書店、2001年4月、総240頁。
- 13 「新漢語指南」、光生館、2001年11月、総103頁。
- 14 「Dialogue23」、内田慶市・張小鋼、好文出版、2002年3月、総55頁。
- 15 「初級漢語教本」、内田慶市・西山美智江、同学社、2005年2月、総87頁。
- 16 「中国語検定徹底対策準4級」、内田慶市・沈国威ほか、アルク、2005年6月、総90頁。
- 17 『中国への道—近きより遠きへ—』、金星堂、2006年1月、総78頁。
- 18 「中国語検定徹底対策4級」、アルク、2006年1月、総97頁。
- 19 「中国語検定徹底対策3級」、アルク、2007年3月、総140頁。
- 20 「キクタン中国語(入門編)」、アルク、2008年5月、総160頁。
- 21 「キクタン中国語(初級編)」、アルク、2008年9月、総184頁。

- 22 「中国語への道 [準中級編]—浅きより深きへ—」、金星堂、2009年1月、総55頁。
- 23 「キクタン中国語 (初中級編)」、アルク、2009年2月、総294頁。
- 24 「キクタン中国語 (中級編)」、内田慶市ほか、アルク、2010年9月、総287頁。
- 25 「極める中国語」、同学社、2011年2月、総101頁。
- 26 「中国語への道—近きより遠きへ—改訂版」、内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧、金星堂、2012年2月、総99頁。
- 27 「キクタン中国語上級編」、内田慶市ほか、アルク、2013年3月、総335頁。
- 28 「中国語への道 [準中級編]—浅きより深きへ—改訂版」、内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧、金星堂、2014年1月、総58頁。
- 29 「しゃべくり中国語」、内田慶市・張軼欧、金星堂、2014年1月、総95頁。
- 30 「ことばのふしぎ—中国語学読本—」、内田慶市・相原茂、朝日出版社、2014年1月、総86頁。
- 31 「ことばのしくみ—中国語学読本 (Ⅱ)」、内田慶市・相原茂、朝日出版社、2016年1月、総94頁。

【監修】

- 01 「Netcademy2—中国語コース (eラーニングネット教材)」、アルク教育社、2010年4月。
- 02 「動画でニイハオ 220 (iPhone/iPad教材)」、株式会社アルク、2012年10月。
- 03 「聞いて丸暗記! 中国語入門」、内田慶市・韓美齡、実業之日本社、2014年8月、総127頁。
- 04 「手のひらスクール—基礎から学べる中国語 (iPhone教材)」、MT Communication、2014年8月。

【新聞記事・雑誌記事・会報記事】

- 01 「外国語教育の現状と将来のあり方について」、『研究センター報』第18号、1994年3月。
- 02 「外国語教育の新しい可能性と根底にあるべきもの—「語学ラボラトリ学会 (LLA) 第35回全国研究大会」参加報告を兼ねて」、『関西大学視聴覚教育』第19号、1996年3月。
- 03 「先ずは疑え」、『葦』No.117、2000年12月。
- 04 「新しい都市を迎えて・私の年頭所感」、『千里タイムズ』、第1832号、2005年1月。
- 05 「子供の命を守れ」、『千里タイムズ』、第1856号、2006年1月。
- 06 「ことばを学ぶということ」、『中国語の環』第75号、2007年4月、2-3頁。
- 07 「教育委員会—現行制度で十分できる」、『朝日新聞』(「私の視点」)、2007年5月。
- 08 「今、教育に求められるもの—教育委員のおもい」、『教育だより』、吹田市教育委員会、第22号、2007年11月。
- 09 「新しい年を迎えて・私の年頭所感」、『千里タイムズ』、第1905号、2008年1月。

- 10 「近代東西言語文化接触研究会一周辺から中心を往来する学際的研究の場」、『東方』第324号、2008年2月、14-15頁。
- 11 「全国学力調査—橋下知事に教育委員は発言を」、『朝日新聞』(「私の視点」)、2008年10月。
- 12 「道草の多い私の中国語の道」、『TONGXUE』第39号、同学社、2010年2月、15-17頁。
- 13 「翻訳という異文化交渉」、『産経新聞』、2013年6月。
- 14 「中国旅したイソップ追う」、『日本経済新聞』(文化欄)、2014年6月。
- 15 「世界図書館巡礼—東西文化交渉の書籍を求めて(2)—2013年夏欧州訪書記」、『関西大学図書館フォーラム』第19号、2014年6月、3-11頁。
- 16 「関西大学図書館開設100周年を迎えて—新しい図書館のあり方「不易」と「流行」と—」、『関西大学博修士会会報』、2014年7月。
- 17 「關西大學亞洲文化研究中心的數據庫的現狀和未來」、『関西大学アジア文化研究センター・ディスカッションペーパー』、2016年3月、23-26頁。

【その他】

- 01 「宮下さんのこと」(遺稿集)、『英語はどういう言語か』、季節社、1985年10月、193-196頁。
- 02 「中国言語学のニューウェーブ—ドラゴン現象」(書評)、『中国図書』10月号、内山書店、1989年10月。
- 03 「『漢訳聖書』の可能性」(研究例会報告)、『関西大学東西学術研究所所報』第56号、1993年3月、6-7頁。
- 04 「イソップ東漸—宣教師の「文化の翻訳」の方法をめぐって」(講演録)、『泊園』第33号、1994年9月、3-21頁。
- 05 「イソップの東漸—宣教師の「文化」の翻訳の方法—あるいは中国文化への同化のみちすじ」(研究例会報告)、『関西大学東西学術研究所所報』第59号、1994年9月、1頁。
- 06 「英漢字典の系譜」(研究例会報告)、『関西大学東西学術研究所所報』第61号、1995年9月、2-3頁。
- 07 「ヨーロッパ発—日本経由—中国行き」(研究例会報告)、『関西大学東西学術研究所所報』第61号、1995年9月、6-8頁。
- 08 「鳥井克之著『中国文法学説史』」(書評)、『関西大学通信』第240号、1995年11月。
- 09 「「易しさ」と「難しさ」と—「マックで中国語」始末記—」、『未発』第3号、ひつじ書房、1997年7月、1-3頁。
- 10 「清国英語事始」(研究例会報告)、『関西大学東西学術研究所所報』第65号、1997年9月1-2頁。
- 11 「ハーバード電脳日記」、『TONGXUE』第20号、2000年9月。

- 12 「三浦つとむと私の研究」(遺稿集)、『胸中にあり火の柱—三浦つとむの遺したもの』(横須賀壽子編)、明石書店、2002年8月、66-71頁。
- 13 「まえがき」(内田慶市・尾崎實著『尾崎實中国語学論集』、好文出版)、2007年2月。
- 14 「談日本关西大学的汉语教学与研究—访日本关西大学内田庆市教授」(インタビュー)、《国际汉语教学动态与研究》2008年第二期、外语教学与研究出版社、2008年6月。
- 15 「私の夢見る図書館像—開かれた図書館をめざして」、『関西大学図書館フォーラム』第17号、2013年3月。
- 16 「世界図書館巡礼—東西文化交渉の書籍を求めて—イタリア編(1)—カサナテンセ図書館」、『関西大学図書館フォーラム』第18号、2013年6月、3-6頁。
- 17 「日本の漢語教學研究—内田慶市教授訪問録」(潘德寶・内田慶市)(インタビュー)、《書屋》第十期、2013年10月、27-30頁。
- 18 「序言」(内田慶市・海峽芳著『文法草創期中国人的漢語研究』、商務印書館)、2014年。
- 19 “Preface” (『Journal of Cultural Interaction in East Asia』Vol.5)、2014年3月、1-2頁。
- 20 「序文」(内田慶市・宋桔著《《语言自述集》的汉语语法研究》、復旦大學出版社)、2015年1月、1-3頁。
- 21 「Foreword」、(『From Medieval to Modern: Aspects of the Western Literary Tradition 中世から現代へ—西洋文学の伝統の様々な形』Edited by Yoko Wada、関西大学出版部)、2017年3月。
- 22 「序」(吾妻重二編著『新聞「泊園」 附 記事名・執筆者一覧 人名索引—泊園書院資料集成三一』、関西大学出版部)、2017年3月。
- 23 「序」(玄 幸子・高田時雄編『内藤湖南 敦煌遺書調査記録 續編—英佛調査ノート』、関西大学出版部)、2017年3月。
- 24 「序文」(大島 薫編著『寂照山成菩提院所藏「悟鈔」 影印 翻刻』、関西大学出版部)、2017年3月。
- 25 「序文」(松浦 章編著『天保七年薩摩片浦南京船金全勝號資料—江戸時代漂着唐船資料集十一』、関西大学出版部)、2018年2月。
- 26 「序」(吾妻重二編著『家礼文献集成 日本篇七』、関西大学出版部)、2018年3月。
- 27 「序文」(陶 徳民編著『平山省斎と岩瀬忠震—開国初期の海外事情探索者たち(Ⅱ)—』、関西大学出版部)、2018年3月。
- 28 「序文」(中谷伸生著『日本の近世近代絵画と文化交渉』、関西大学出版部)、2018年3月。

【項目執筆】

- 01 「学会展望」(語学・責任編集)、『日本中国学会報』第62集、2010年10月。
- 02 「学会展望」(語学・責任編集)、『日本中国学会報』第63集、2011年10月、60-72頁。

【語彙索引】

- 01 『『登瀛篇』影印本文・総語彙索引』、『平成14年度～15年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書』、2004年3月、147-180頁。

【科学研究費採択（研究代表者のみ）】

- 01 2002-2003, 基盤研究（B）, 3400千円, 「16世紀以降西洋人の中国語学研究の文献に関する調査・研究」, 分担者：沈国威
- 02 2006-2007, 基盤研究（B）, 「19世紀「官話」の諸相—「周縁（ヨーロッパ・朝鮮・琉球・日本）」からのアプローチ」, 14050千円, 分担者：木津祐子、奥村佳代子、玄幸子、小野文、沈国威
- 03 2015.4.1-2018.3.31, 基盤研究（C）, 「『新天聖書』を中心とした漢訳聖書の系譜とその文体論的研究」, 4420千円, 分担者：奥村佳代子、塩山正純、朱鳳
- 04 2018.4.1-2021.3.31, 基盤研究（C）, 「中国語版ドチリナ・キリシタンのデジタルアーカイブス化とその語学的研究」, 4420千円, 分担者：塩山正純、奥村佳代子